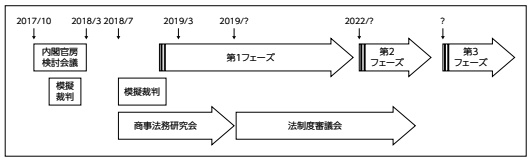
お詫びと訂正

1･2月合併号「捜査･公判協力型協議･合意制度の運用と弁護実践」の記載に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

11ページ左側の下から13行目　（誤）会社 →（正）下位者

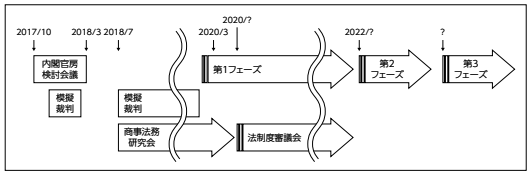
3月号「e裁判レポート」の図の記載に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

15ページ　（誤）2019/3　2019/？



↓

（正）2020/3　2020/？



3月号「今月号広告掲載企業連絡先一覧」の記載に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

64ページ　（誤）（株）社判例時報 →（正）（株）判例時報社

第二東京弁護士会会員数
5,892名（平成31年2月28日現在）

内　訳

･自然人会員5,594名（うち女性1,181）　･準会員　0名
･外国特別会員167名（うち女性24）　･法人会員131法人（うち従事務所19）

編集委員

●編集長　小川 恵司
●副編集長　髙山 烈
●広報室嘱託　平岡 敦　澤井 裕　堀岡 咲子　石井 邦尚
●広報室担当副会長　上田 正和

??「バジェット」「ASAP」??

今月号から、編集後記は、ちょっと気になる話題のネタ等々をご紹介するコーナーに変身しました。記念すべき第一回は、いわゆる意識高い系のビジネスマンが多用しているカタカナ用語のご紹介です。

「ちょっとバジェットがタイトで、バッファがないんだよねー」
「それだとフィジビリティ低いから、ASAP（アサップ）で方針をリバイズしといて」
「それ、アグリー」

この会話、読者の皆様は、解読できたでしょうか。はっきり言って「日本語で言って」という気もしますが、そこをあえてカタカナ用語で表現してしまうところに、仕事できる感が演出されているのか、私も時々このような会話に遭遇します。上記を訳すると、以下のとおりとなります。

「ちょっと予算が厳しくて、余裕がないんだよねー」
「それじゃあ実現可能性が低いから、できるだけ早く方針を修正しといて」
「それ、同意です」

多くは英語を用いた言葉ですので、辞書を引けば解読可能ですが、ASAPは、「As Soon As Possible」の頭文字をとった言葉とのことですので、やや上級編かもしれません。日々の会話にちょっと取り入れてみると、意識高い系に仲間入りができるかも(?)しれません。　（堀岡）

今月号広告掲載企業連絡先一覧（掲載頁順）

表2　日本弁護士国民年金基金事務局 ……03-3581-3739
P21　三菱地所リアルエステートサービス(株) ……03-3510-7123
P39　(株)ティ･エス･ティ……03-3327-4441
P52　野村不動産アーバンネット ……03-3345-7116
P53　(株)愛晃リサーチ……0120-54-5432
P54　凸版印刷(株) ……03-3835-6617
P54　(株)ファミリーエージェント……03-6228-5145
表3　(株)判例時報社 ……03-3947-7375
表4　(株)LIC ……03-3401-5181

本誌への広告掲載に関しては当会ホームページ
(http://niben.jp/niben/books/frontier/koukoku.html)をご覧ください。

NIBEN Frontier

NIBEN Frontier●二弁フロンティア
2019年(平成31年)4月号第182号　2019年3月20日(毎月20日)発行
●企画・編集
第二東京弁護士会広報室（室長　小川 恵司）
●発行
第二東京弁護士会（会長　笠井 直人）
〒100-0013　東京都千代田区霞が関1-1-3
TEL.03-3581-2255（代表）
URL：http://niben.jp/／e-mail：info@niben.net
●印刷
凸版印刷株式会社
東京都台東区台東1-5-1　TEL.03-3835-6617（代表）
●定価
1部500円（税込）／年間購読料5,000円（税込）※会員の購読料は会費に含む
●本誌に関するお問い合わせは
第二東京弁護士会企画課　広報室担当
TEL.03-3581-2869

本誌掲載の記事は無断複製を禁じます。乱丁・落丁はお取替えいたします。
ⓒ2019 第二東京弁護士会